

当院透析室における導入期指導の実施状況の調査

医療法人財団はまゆう会新王子病院

○矢野奈津子 塚原美代子 大谷麻岐 大塚賢二 渡辺千代子

箴島明彦 瀬川賀世子 田中孝夫

はじめに

当院では、患者の高齢化に伴い、平成 23 年 8 月に導入期指導チェックリストを簡潔なものに改定した。改定後の導入期指導の実施状況を把握し、問題点を明確にするため調査した。

目的

導入期患者の指導状況を把握し、指導方法と今後の課題を検討する。

方法

平成 22 年 8 月から平成 26 年 12 月までの導入 1 年未満の患者を対象に、導入期指導チェックリストの実施状況・結果を調査

結果

導入患者の平均年齢は 68.7 歳で、75 歳以上が 29.6%であった。認知症・脳血管障害のため家族への指導を行ったのは 57.9%であった。

水分・シャント管理に関しては、70%の患者が理解を示しているが、高 K 血症は 57%、リン・カルシウムに関しては 41%と低かった。

考察

患者家族への指導は行っているが、理解度の評価には至っていない。患者・家族が共有できるチェックリストへの改定を行い、理解度の把握が必要になる。症状が実感しにくい、リン・カルシウム、カリウムに関しては、患者の理解・関心が深まるよう反復学習が必要である。

まとめ

今後の課題として、認知症・脳血管障害患者など未指導の患者家族への協力依頼の強化が必要になる。導入期指導チェックリストを患者家族も使用できるよう改定し、患者が反復学習を行える機会を増やす必要がある。